

# 「隆山世界」歴史年表

(皇紀二六六二年冬版改)

(行以前の年は、我々知るものと同じである)

一五〇〇年頃	能登半島七尾湾に未確認飛行物体墜落、隆山付近に天然の良港出現
一六〇〇年頃	関ヶ原の合戦の功により、隆山藩発足
一八六二年	英仏、南北戦争に協調介入
一八六三年	南北戦争終結、南部連合結成。以後の英米関係極度に悪化
一八八八年	イギリス、ロシアよりカナダ、アリゾナ、リノ州列島購入
一八九九年	舞鶴鎮守府開庁、予算問題から延期。最終的に隆山(変更)日露戦争終結、日本、大陸から叩き出される
一九〇一年	日露戦争後の対露脅威に備えるため、石川県隆山に鎮守府設置
一九〇八年	第一次世界大戦勃発
一九一四年	合衆国、英国、南部連合の妨害を排してパナマ運河建設
一九一五年	Uボート、ルンタニア号を撃沈。米、参戦見合わせが確定的
一九一六年	好景気を背景に、合衆国南北関係雪解けムード
一九一八年(年内)	合衆国、ドイツ併合
一九一九年	ロシア革命発生に伴うシベリア出兵、合衆国、満州並びに沿海州占領
一九一九年	日本、樺太占領
一九二〇年	ドイツ軍、パリに迫るものの、経済的苦境より自壊
一九二〇年	合衆国、戦時債務の肩代わりとして、英よりアリゾナ、リノ州列島租借
一九二一年〇二月二六日	シベリア出兵中止
一九二一年〇二月二六日	陸軍青年将校団大軍拡の海軍と扱いの違いに強い不満
一九二一年〇二月二六日	陸軍、クーデター計画。日本政府、間一髪でこれを阻止
一九二一年〇二月二六日	(第一次二二六事件)
一九二一年〇二月二六日	陸軍、更なる大軍縮。ただし統帥権問題は未解決
一九二一年〇二月二六日	以後、統帥権を盾に海軍独裁の時代(四三年)が続く
一九二一年〇二月二六日	隆山軍縮条約締結、日本、八八艦隊の保有を確保。ただし補助艦は(少数)
一九二一年〇二月二六日	戦軍開発特務機関(三三三)機関が成立
一九二一年〇二月二六日	張作霖支援に回った合衆国、張作霖政府を承認。通称、満州国
一九二四年	世界恐慌始まる。合衆国南北関係、再び悪化
一九二九年一〇月二四日	隆山条約の艦艇代艦規定より日英米、代艦建造開始
一九三四年〇一月	(各艦四〇〇C)抱九門
一九三五年	日ハ高千穂V級 一隻 英ハKG V級 一隻
一九三五年	米ハミネソタV級三隻 四番艦 隆山条約失効につき建造中
一九三五年	橋本V級改装の論議。最終的には、月島V級特殊電波兵器試験艦へ改装
一九三五年	伊勢V級改装の論議。最終的には、月島V級特殊電波兵器試験艦へ改装
一九三五年	イタリア、エチオピアへの軍事侵略を断念し、保護国化

一九三六〇三月	スペイン内乱の隙をつき、フィリピン独立
一九三七年〇一月〇一日	日英中、これを承認。米独西、これを認めず
一九三八年〇四月〇八日	隆山条約失効。無条約時代へ
一九三八年(年内)	演習中、海軍甲事件、勃発し、大演習(秘匿名称「陸雲実験」)
一九三八年(年内)	北崎、エジプト、アリンク、ニクク社、餘称Key設立
一九三八年(年内)	汚職事件、海軍骨董品事件、摘発。これにより戦艦高倉「武蔵」みどり建造中止
一九三九年〇三月	標的艦々々田々暴走事件、新機「穂高」さおり参加
一九三九年〇三月	第二次世界大戦開戦
一九三九年〇三月	第一次遣英艦隊編成、日本、戦艦八隻を基幹とする艦隊を派遣
一九三九年〇三月	ラブラタ河口沖海戦、綺堂「グラフィック」さくら、園獲
一九三九年〇三月	内蒙古の綏遠で日本製戦車装備の中国国府軍鉄牛部隊、ソ連製戦車を装備した中国共産党戦車部隊に敗北
一九三九年〇三月	外蒙占から侵入を図ったソ連の共産主義軍を日本の中華民国派遣軍事顧問団が撃破
一九三九年〇三月	共産主義軍、指揮官「ソ」将軍、責任を取らされ統殺
一九三九年〇三月	フリージア沖海戦
一九三九年〇三月	高速魚雷艇「推名」MVB部隊、ドイツ輸送船団を撃破
一九三九年〇三月	ウエイクライド沖海戦、仮装航空巡洋艦「シャルホルスト」
一九三九年〇三月	とモウ、艦隊航空兵力の有効性を証明
一九三九年〇三月	英空母「クローリアス」追撃戦、天城「智」V級戦艦参加
一九三九年〇三月	イタリア、WWに参戦、ギリシャ及びエチオピアへ侵攻開始
一九三九年〇三月	第二次遣英艦隊編成(空母二、重巡二、基幹)
一九三九年〇三月	合衆国大統領選、対日強硬派のロンゲ大統領当選
一九三九年〇三月	日本、海上護衛総隊設置
一九三九年〇三月	米独伊三国同盟交渉開始
一九三九年〇三月	英軍、第一次タラント奇襲
一九三九年〇三月	伊艦隊が出港して、空振りになる
一九三九年〇三月	第一次タイガー船団護衛部隊、イタリア輸送船団を補足
一九三九年〇三月	地中海のキッネ狩り海戦(イドフィッシュ夜間雷撃)
一九三九年〇三月	ドイツ海軍、「ロト」作戦発動、白野森「ヒムルク」あすさ
一九三九年〇三月	追撃戦(一七日まで)
一九三九年〇三月	日英艦隊は、白野森「ヒムルク」あすさの撃沈に失敗したばかりか
一九三九年〇三月	大損害を受け、後の英半墜落の遠因は「ヒ」にあると言われる
一九三九年〇三月	ドイツ軍、ソ連侵攻(バルバロッサ作戦)
一九三九年〇三月	パンテレリア沖海戦
一九三九年〇三月	「霧島」「ロマ」佳乃、へ国崎「テノク」オプ「ニク」往々
一九三九年〇三月	と交戦
一九三九年〇三月	米独伊三国同盟締結、向時に対独武器貸与法成立
一九三九年〇三月	合衆国、「スペインからの要請」に応え、フィリピン兵力派遣
一九三九年〇三月	隆山V作戦、合衆国義勇艦隊改装空母「エティフィ」沈没
一九三九年〇三月	ドイツ軍、モスクワ攻略
一九三九年〇三月	辛島V就役、対米謀略番組「Pantheon」放送スタート
一九三九年〇三月	第三次遣英艦隊編成、空母八隻、戦艦八隻、高瀬「大和」瑞希

○三月〇八日	等派遣 合衆国巡洋艦、日本艦に対して突発的照射を浴びさせ、偶発戦闘勃発
一五日	合衆国、日英に対する報復措置として旧式戦艦四隻のドイツ供与を決定
二六日	ハルノート通告
○四月〇七日	マルタ沖海戦 日英側バスターデル作戦、伊独側ラクレス作戦
二二日	日英側戦艦一〇隻(内三隻沈没)空母三隻(内一隻沈没)独伊側戦艦九隻(内四隻沈没)空母一隻
○八日	日米開戦 日本海軍、遭英艦隊のほぼ全力を引き上げ
(同日)	在満州米航空隊による日本本土(舞鶴)空襲
二二日	波留無人試製第一潜水艦「XMK-12 マルチ艦」の幻の活躍開始
三〇日	ミッドウエー海戦 日本敗北空母一損失、空母二並びに戦艦三大破
○五月後半	米軍、マーシャル諸島占領
○五〇九月	北太平洋で、アッツ島を巡る水上艦同士の戦い多発
○六月	第二次ハトルオブブリテ、開始
○七月	合衆国、トラック占領
○七月二六日	英本土にて、ジックト戦闘機「A.11」史上初の実戦参加
○九月	折原「筑波」みさお沈没(合衆国潜水艇「チャーフィッシュ」による)
○九月〇八日	第二次セーレブ作戦(英本土上陸作戦)発動
二二日	臨時混成戦闘団「The Hanson family」の戦い
二四日	英本土に降参するが、残存の英連邦軍は世界各地で抵抗を継続
一〇月	「E」計画によるカナタ脱出戦
一〇月〇七日	合衆国、ハラオ占領
一月中旬	空母「千鶴」(M)戦艦「テルヒツ」撃沈(初の航空機での戦艦撃沈)
二二日	東部戦線での連冬季反攻、モクワフに迫るも「四五〇一」ハルウェイト「イゲル」フリントダッドの機動防衛により撃退される
二四日	大日本帝国、ハイ侵攻(藤堂「フラン」発動)
二四日	在満州合衆国軍、最後の大規模日本本土空襲作戦発動(「ラオール」作戦)
一九四三年〇一月三〇日	東太平洋海戦 GF及び合衆国太平洋艦隊壊滅
	日本側空母一二隻(内三隻沈没)戦艦二〇隻(内四隻沈没)合衆国側空母九隻(内四隻沈没)戦艦二四隻(内七隻沈没)
	合衆国空母数には、護衛空母二〇隻を含まず
	工作艦「大場」「ハリス」まひる、日本駆逐艦に襲撃される
三二日	南部連合、北進開始(第二次南北戦争開戦)。対日休戦「ト」頂点に
○二二〇一日	日米休戦締結
一四日	第二次「二六」事件発生、海軍の日米休戦反対派が主導
二六日	軽空母「折原」「吉野」「浩平」や戦艦「来須川」「紀伊」「綾香」反乱艦隊と死闘(大島沖海戦など)

一九四四年〇七月	○八月二二日	スターリン爆殺される。共産主義体制は崩壊し、以後ロシアは集団指導体制に軍閥(二十七派閥の割拠)
一〇月頃	○九月	ドイツ軍、ウラル山脈にまで戦線を押し広げる
二二日	○一〇月	第二次タラント奇襲(「Last Road」作戦)
(この頃)	○一〇月六日	英連邦、反乱兵器独自開発を断念、日本と統合(「D」計画)
一九四五年〇四月頃	○一〇月二五日	クレタ島撤収作戦
○四月二二日	○一〇月二五日	日英、スエズ撤退作戦
○五月〇七日	一九四五年〇四月頃	イギリス、連邦制に移行
一九四五〇四七年	一九四五年〇四月頃	カナダのケベック州、英連邦に反旗、ヴィシー政権に帰属
一九四八年〇五月一三日	○五月〇七日	大ドイツ帝国南部に謎の国籍不明機が墜落、フックバイン回収作戦
一七日	一九四八年〇五月一三日	南部連合、無条件降伏
	一九四八年〇五月一三日	イタリヤ軍、エチオピア
	一九四八年〇五月一三日	第三次世界大戦勃発
	一九四八年〇五月一三日	ドイツ、ワシントンとフィラデルフィアを核攻撃
	一九四八年〇五月一三日	フランス、湾海戦
	一九四八年〇五月一三日	米戦艦 四隻……内沈没一隻、大破二隻
	一九四八年〇五月一三日	独戦艦級七隻……内大破三隻、中破二隻
	一九四八年〇五月一三日	合衆国海軍、大西洋方面での作戦能力損失
	一九四八年〇五月一三日	日本、国内閣成立
	一九四八年〇五月一三日	ドイツ軍、パナマ侵攻、これを占領
	一九四八年〇五月一三日	アメリカ、大西洋艦隊残存艦艇は、運河占領寸前に太平洋に脱出
	一九四八年〇五月一三日	カナタ戦線で捕獲した「八八車」七式中戦車「文乃」を視察したヒトラー、新型戦車開発を指示
	一九四八年〇五月一三日	フルー「アイス」作戦
	一九四八年〇五月一三日	日本軍、「フィリプス」二テス「コロ」鹵獲
	一九四八年〇五月一三日	日英軍、ソトラ島占領
	一九四八年〇五月一三日	同盟軍、パナマ奪回
	一九四八年〇五月一三日	メキシコ湾海戦をはじめとするカリブ海航空撃滅戦
	一九四八年〇五月一三日	マルティニク島に侵攻した日英米艦隊に対し、松塚「シロ」フエン、他の欧州連合艦隊が夜戦を挑み完勝するが、輸送船団の撃滅に失敗(第一次ウインドワード海戦)
	一九四八年〇五月一三日	マルティニク島地上戦でドイツ軍の「インバウ」戦闘団が全滅
	一九四八年〇五月一三日	その後、マルティニク島周りを「一九五〇年二月」欧州連合軍が撤退するまで激戦が繰り広げられる
	一九四八年〇五月一三日	△岡本「伊三三」みさな、大西洋からシララルタルを突破して地中海に侵入、多数の艦船を撃沈
	一九四八年〇五月一三日	日英同盟、アテン侵攻
	一九四八年〇五月一三日	中部大西洋海戦、日英米対独仏の空母部隊の激突
	一九四八年〇五月一三日	日英同盟、レイキヤビク侵攻
	一九四八年〇五月一三日	ウインドビル島沖海戦
	一九四八年〇五月一三日	△水村「アドミラル」シア、遊、日本海軍の艦城「摩耶」唯子
	一九四八年〇五月一三日	△千堂「島海」暉を翻弄するも、綺望「グラフ」シノベ「さくら」に撃破される

